

よくあるQ&A

教科別・保護者のサポート法

国語

Q なかなか勉強を見てあげられないときは、どうしたらよいですか？

A 「はなす」は親子で取り組んでもらいたい活動なので、保護者の方のお時間がとれるときに一緒に取り組んでください。「よむ」は、練習をお子さまひとりでを行い、保護者の方はその成果を聞いてあげてください。「きく」は、お子さまがひとりで読めるようであれば、あとで感想を共有するなど、アレンジして取り組んでもかまいません。また、「よみとり」「かく」「ことば」などのお子さまひとりで取り組んだところは、保護者の方があとで丸つけをしてあげてください。

Q 「よみとり」でまちがっていた場合は、どこまで教えてあげればよいですか？

A 保護者の方から、「お母さんはここを見て、こう考えたから、答えはこれだと思うよ」などと説明してあげてください。お子さまはそれを聞いて、「そう考えればよいのだな」と、徐々にわかるようになっていきます。

Q 「かく」がうまく取り組みません。どのように進めたらよいでしょうか？

A 書く前に親子で話しあいをして、「このことを書く」と決めておくスムーズです。「かく」の準備として「はなす」で同じテーマを扱っている場合も多くありますので、前の回を振り返ってから、書くようにするとよいでしょう。

Q 記述問題は、模範解答と同じでないともちがいますか？

A 記述問題は、おおよその内容が合っていれば丸にしてください。そのうえで、足りないところ、余分なところなどがあれば、「こうするといいよ」とアドバイスしてあげるとよいでしょう。

算数

Q なかなか勉強を見てあげられないときは、どうしたらよいですか？

A お子さまひとりで取り組めるところは、ひとりで取り組ませ、保護者の方があとで丸つけをしてあげてください。『わくわくエブリスタディ』の「はってん」マークの問題は少し難しいので、保護者の方と一緒に取り組むとよいでしょう。なお、答えが何通りもある問題の場合は、(例)に示されている以外にも正解があるので、注意深く見てあげてください。

Q 文章題の式が、模範解答とちがう場合は、バツでしょうか？

A たとえば「 $1+2$ 」「 $2+1$ 」あるいは「 3×4 」「 4×3 」など、たし算・かけ算の場合は、式が2通り考えられますが、答えが合っていれば、丸にしてください。そのうえで、「文章題に出てきた順にたすように式をつくろう」「答えの単位の数字がかけ算の先にくるよ」など、アドバイスしてあげるとよいでしょう。

経験学習 (ハイレベルのみ)

Q 絵や作文をかくのが苦手です。

A 上手にかく必要はありません。大切なことは、体験を振り返り、その中での気づきや思考を定着させることです。苦手なお子さまは、上手にできなくてはいけないと思っていることが多いようです。お子さまには、体験を思い出し、いちばん印象に残っていることをそのままかけばよいということをお伝えください。ほめることで安心して表現できるようになりますので、よいところを具体的にほめ、お子さまの自信につなげていくとよいでしょう。

講座・教材内容に関するご相談

Q 教材に取り組むときにはつねに親のサポートが必要なのでしょうか？

A 『わくわくエブリスタディ』は親子で学習する構成となっておりますが、お子さまひとりで問題なく取り組める場合は、とくに保護者の方の関与は必要ありません。また、『ドリルZ』と『てんさくもんだい』は、お子さまひとりで解答するようになっております。経験学習（ハイレベルのみ）は、親子で体験活動とそのふりかえりをし、その後、お子さまひとりで絵や文で表現をしていただくようになっております。

Q 「みらい思考力ワーク」（ハイレベルのみ・オプション講座）は受講したほうがよいのでしょうか？

A 「みらい思考力ワーク」は、教科学習で得た知識や日常生活で習得した知識をもとに、さまざまな取り組みをすることによって柔軟な思考力を身につける教材となっています。国語・算数・経験学習の3教科に加えてご受講いただくことで、思考力をさらに伸ばしていけます。このような力を早くから身につけたい方は受講をおすすめします。また、将来中学受験をお考えの方は、「みらい思考力ワーク」を追加されることをおすすめします。

Q 英語・プログラミング学習の申し込みは必要ですか？

A お手続きや追加費用、特別な機器は不要です。英語・プログラミング学習は、Z会小学1・2年生向けコースをご受講の方ならだれでもご利用いただけるデジタル教材です。スタートセットでお届けする「my Z設定ガイド」に従ってご利用ください。なお、ご利用に必要な環境はZ会Webサイトでご確認いただけます。

■受講環境・サービス利用環境について

<https://www.zkai.co.jp/el/tablet/>

Q 教材でわからないことがあったらどうすればいいですか？

A 「my Z（マイゼット）」からご質問いただけます。くわしくは「各種サポート（my Z・情報提供など）」をご覧ください。

Q 「プログラミング学習Z-pro」とZ会の他のプログラミング講座（Z会プログラミングシリーズ）とはどう違うのですか？

A 「プログラミング学習 Z-pro」は親しみやすい物語と直感的にわかる操作性で、はじめてプログラミングにふれるお子さまでも取り組みやすい教材となっております。またZ会では、「プログラミング的思考」をより深めたい方向けに、追加でご受講いただける講座として、「プログラミングはじめてみる講座」「プログラミングみらい講座 with KOOV®」をご用意しています。くわしくはそれぞれの講座のページをご覧ください。

■プログラミングはじめてみる講座

<https://www.zkai.co.jp/z-programming/hajimete/>

■プログラミングみらい講座 with KOOV®

<https://www.zkai.co.jp/z-programming/mirai/>

※講座名称や講座ラインナップは変更になる可能性があります。

「プログラミングみらい講座 with KOOV®」は、株式会社Z会と株式会社ソニー・グローバルエデュケーションの協業による講座です。

KOOV®は、株式会社ソニー・グローバルエデュケーションの登録商標です。